

熊本県の農林水産業の概要

特徴・取組

熊本県は、世界最大級のカルデラを有する阿蘇や、美しい島々からなる天草に代表される素晴らしい自然にあふれており、阿蘇山、九州山地に源を発する菊池川（きくちがわ）、球磨川（くまがわ）などの一級河川や豊富な地下水など、水資源にも恵まれている。

また、三方を山に囲まれているため、天草地方を除いて、全体的に内陸性気候であり、年平均気温は熊本市で17℃前後、阿蘇地方で13℃前後、年間降水量は平地で約2,500mm、山地で約3,000mmとなっている。

さらに、日本最大の干潟を有する有明海、内湾で東シナ海に湾口を開く八代海、対馬暖流に面する天草灘の3海域を有している。

産業構造は、県内総生産（平成30年度：6兆1,224億円）を産業別にみると、第1次産業が2,053億円（3.4%）、第2次産業が1兆6,267億円（26.6%）、第3次産業が4兆2,539億円（69.5%）となっている。

豊かな自然の恵みを背景に、農業では、米・野菜・果樹・畜産をはじめ多彩な農畜産物が、林業では、すぎやひのきの木材や、しいたけなどの特用林産物が生産されている。水産業では、3海域の特徴を活かした養殖業や、漁船漁業が盛んに行われている。

農業就業人口は、全国と同様に高齢化等により減少する中、新たな担い手となる新規就農者の就農形態は、親元就農、新規参入や、農業法人への雇用就農など多様化している。

これらに対応するため、県では、第一線で活躍する実務家らが講師となり、次世代の農業を担う農業者を育成するための「くまもと農業経営塾」や、最新の農業知識や農業技術等をテーマにした学びの場である「くまもと農業アカデミー」を開催し、多様な担い手の育成を図っている。

P・Q・C（P（価格）×Q（量）－C（コスト））の最適化による所得向上のため、高品質化、生産安定、コスト削減の取組と併せて、広域農場（メガ法人）の育成や農地集積などを推進している。また、平坦地と比較して生産条件に恵まれていない中山間地域における農地集積への支援、きめ細やかな基盤整備、小面積でも農業所得を確保できる施設園芸や商品性の高い品目の導入など収益の柱となる農産物の生産を推進し、「稼げる農業」の更なる加速化へ向けて取り組んでいる。

主な農林水産物

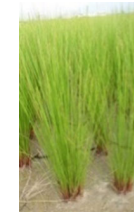
米

西日本有数の米生産県であり、平成30年本格デビューの「くまさんの輝き」「森のくまさん」「くまさんの力」などの県オリジナル品種をはじめ、特色ある米を生産。



い(い草)

県オリジナル品種「涼風」、「ひのみどり」等を育成。平成28年2月に「くまもと県産い草・畳表」はGI登録。（収穫量全国1位）



すいか

促成栽培により、全国に先駆けて出荷。熊本、鹿本、菊池、上益城が主な産地。（収穫量全国1位）



トマト

八代・玉名の冬春トマト、阿蘇・上益城の夏秋トマトなど、地勢や気象条件を活かして周年生産。（収穫量全国1位）



みかん

海岸島しょ地域の気候を活かし、県独自品種を含めたりー出荷を実施。（収穫量全国4位）



しらぬひ類（登録商標：デコポン）

皮がむきやすく食味が良い柑橘類。県独自品種「肥の豊（ひのゆたか）」の導入により品質向上。（収穫量全国1位）



肉用牛

全国的に繁殖経営が盛ん。黒毛、褐毛和種（あか牛）、交雑種など多彩な肉用牛を生産。平成30年9月には「くまもとあか牛」がGI登録。（飼養頭数全国4位）



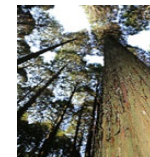
宿根かすみそう

菊池、宇城、天草で栽培が盛ん。全国有数の生産量を誇り、冠婚葬祭等のニーズに対応。（出荷量全国1位）



木材（すぎ・ひのき）

育苗技術を活かして県下一円で植栽。（すぎ：素材生産量全国5位）（ひのき：素材生産量全国1位）



まだい・くるまえび（養殖）

温暖な気候を活かした海面養殖業が盛ん。（まだい：収穫量全国2位）（くるまえび：収穫量全国2位）



熊本県内の各地域における農林水産物

県央地域

【農産物】トマト、すいか、メロン、なす、みかん、しらぬひ類（登録商標：デコポン）、日本なし、くり、宿根かすみそう、洋ラン、トルコギキョウ、茶

【林産物】乾しいたけ、たけのこ、竹材

【水産物】のり、あさり、くるまえば

天草地域

【農産物】しらぬひ類（登録商標：デコポン）、河内晩柑、宿根かすみそう、トルコギキョウ、キク

【林産物】椿油

【水産物】まだい、しまあじ、くるまえば、ぶり、ひらめ、このしろ、ふぐ類

県北地域

【農産物】トマト、いちご、すいか、なす、みかん、日本なし、くり、キンカン、宿根かすみそう、トルコギキョウ、キク、茶

【林産物】乾しいたけ、たけのこ、竹材、竹炭、竹酢液

【水産物】のり、あさり、くるまえば

県南地域

【農産物】トマト、いちご、メロン、なす、カリフラワー、しょうが、しらぬひ類（登録商標：デコポン）、甘夏みかん、晩白柚（柑橘類）、日本なし、くり、トルコギキョウ、キク、畳表（い草）、茶

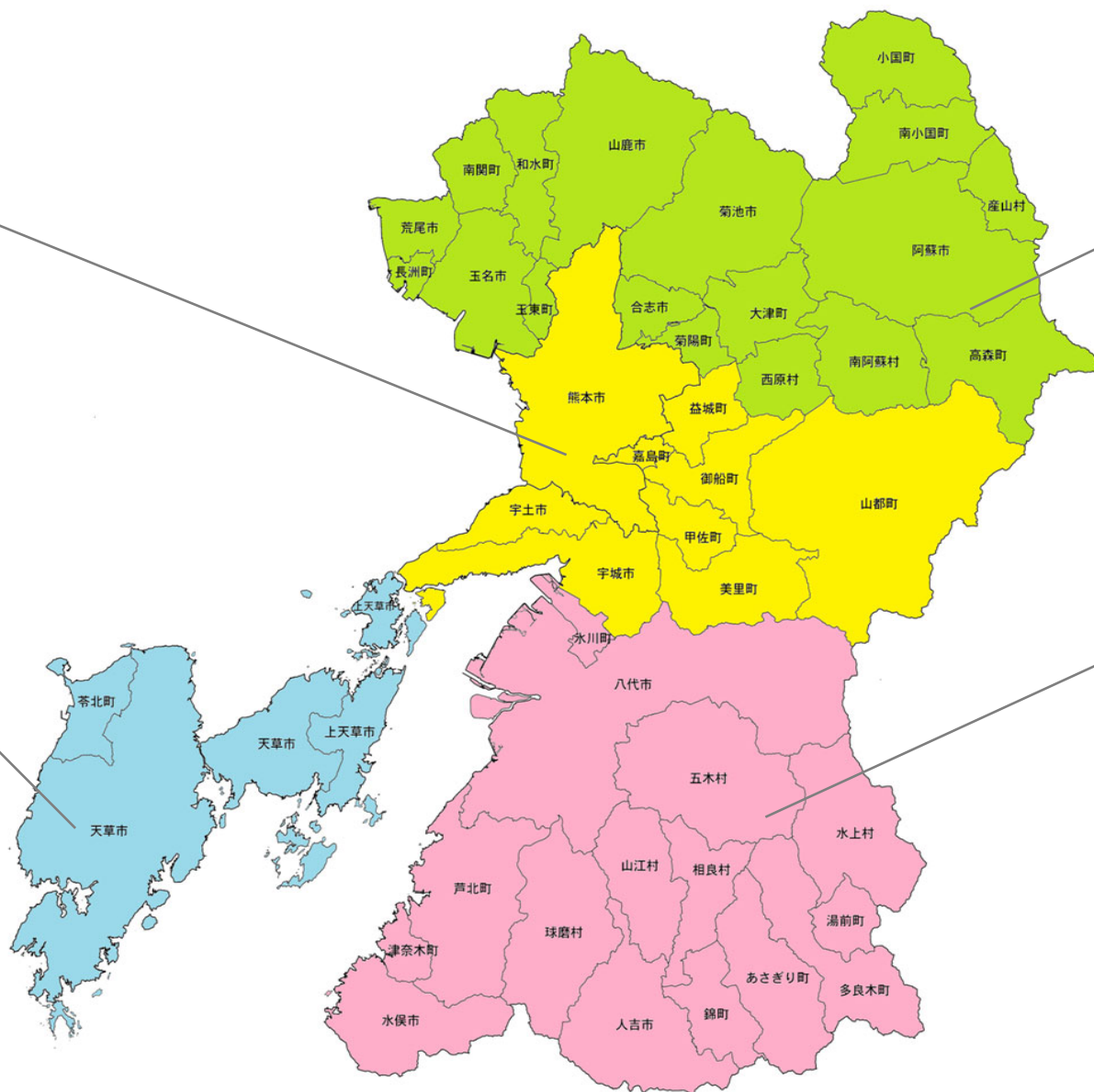
【林産物】乾しいたけ、生きくらげ類、木炭、竹酢液

【水産物】たちうお、このしろ

県全域

【農畜産物】水稻（森のくまさん、くまさんの力、くまさんの輝き等）、葉たばこ、牛乳、牛肉、豚肉、鶏卵、鶏肉

【林産物】すぎ、ひのき



出典：「くまもとの農林水産業2021」、「熊本県主要野菜生産状況調査について（R元年）」、「令和元年度熊本県果樹振興実績書」

「熊本県花き生産実績（R元年度）」、「熊本県林業統計要覧（R元年度）」、「熊本県の水産（R2年度）」を基に作成

注：デコポンとは、熊本果実連の登録商標であり、しらぬひ類のうち、糖度13%以上などの「全国統一糖酸品質基準」等の条件を満たしたものをいう。

熊 本 県 の 農 業 (1)

- ・耕地面積は10万7,500haで全国第13位。うち、田が6万6,100haで13位、畑が4万1,400haで8位。
- ・農業経営体数は3万3,952経営体で全国第9位。うち、法人経営が1,077経営体で5位。集落営農数は400集落営農で16位。
- ・認定農業者数は1万601経営体で全国第3位。うち、法人が987法人で4位。

耕地面積

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
耕地面積	107,500 ha	4,349,000 ha	13
田	66,100 ha	2,366,000 ha	13
畑	41,400 ha	1,983,000 ha	8
普通畑	21,800 ha	1,126,000 ha	15
樹園地	13,100 ha	263,200 ha	6
牧草地	6,470 ha	593,400 ha	4
参考) 総土地面積	740,939 ha	37,797,463 ha	15

出典:「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	9,559 ha	281,831 ha	10

出典:「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	54,355 ha	2,535,115 ha	10
集積率	49.8 %	58.0 %	16

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注: 農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
農業経営体数	33,952 経営体	1,075,705 経営体	9
法人経営体	1,077 経営体	30,707 経営体	5
総農家数	47,879 戸	1,747,079 戸	13
販売農家	32,529 戸	1,027,892 戸	8
参考) 世帯総数	719,154 世帯	55,830,154 世帯	24
集落営農数	400 集落営農	14,490 集落営農	16

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	51,827 人	1,363,038 人	4
男	30,444 人	822,144 人	4
女	21,383 人	540,894 人	5
65歳以上	31,780 人	948,621 人	7
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	61.3 %	69.6 %	-
認定農業者数	10,601 経営体	233,806 経営体	3
法人数	987 法人	26,080 法人	4
参考) 総人口数	1,738,301 人	126,146,099 人	23

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

熊 本 県 の 農 業 (2)

- ・ 農業産出額は3,407億円で全国第5位。うち野菜が1,221億円、畜産が1,192億円、米が361億円、果実が338億円。
- ・ 農畜産物の生産状況は、い(い草)、トマト、すいか、宿根かすみそう、シラヌヒ(デコポン)、葉たばこが全国第1位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農家レストランの年間販売金額が14億1,000万円で全国第6位。農産加工は378億1,900万円で7位。

農業産出額

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
農業産出額	3,407 億円	89,557 億円	5
米	361 億円	16,551 億円	15
麦類	7 億円	521 億円	9 *
雑穀	0 億円	77 億円	23
豆類	7 億円	712 億円	19
いも類	56 億円	2,391 億円	8
野菜	1,221 億円	22,520 億円	4
果実	338 億円	8,741 億円	7
花き	86 億円	3,080 億円	10
工芸農作物	79 億円	1,553 億円	5
その他作物	30 億円	697 億円	8 *
畜産	1,192 億円	32,279 億円	8
肉用牛	400 億円	6,863 億円	4
乳用牛	339 億円	9,310 億円	3
生乳	290 億円	7,798 億円	3
豚	227 億円	6,596 億円	10
鶏	196 億円	8,724 億円	16
鶏卵	81 億円	4,577 億円	22
ブロイラー	95 億円	3,621 億円	6 *
その他畜産物	30 億円	787 億円	4
加工農産物	29 億円	436 億円	4

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区 分	年次	熊 本 県	全 国	全国順位	
い(い草)	収穫量	R3	6,360 t	6,390 t	1
トマト	収穫量	R2	135,300 t	706,000 t	1
すいか	収穫量	R2	49,900 t	310,900 t	1
宿根かすみそう (切り花類)	出荷量	R2	17,600 千本	46,600 千本	1
シラヌヒ(デコポン)	収穫量	元	11,740 t	40,516 t	1
葉たばこ	販売重量	R2	2,161 t	13,748 t	1 *
なす	収穫量	R2	34,200 t	297,000 t	2
メロン	収穫量	R2	24,400 t	147,900 t	2
しょうが	収穫量	R2	4,850 t	44,700 t	2
生乳	生産量	R2	259,179 t	7,438,218 t	3
肉用牛	飼養頭数	R3	134,700 頭	2,605,000 頭	4
水稻	収穫量	R3	156,300 t	7,563,000 t	16

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「葉たばこ販売実績(全国たばこ耕作組合中央会)」、「牛乳乳製品統計」、「畜産統計」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	37,819 百万円	946,841 百万円	7
	事業体数	900 事業体	32,400 事業体	10
農産物直売所	総額	34,113 百万円	1,053,366 百万円	8
	事業体数	580 事業体	23,650 事業体	18
農家レストラン	総額	1,410 百万円	35,696 百万円	6 *
	事業体数	40 事業体	1,360 事業体	6 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

熊 本 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は134.8億円で全国第9位。うち木材生産が114.2億円で4位。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量で、ひのきが全国第1位、すぎが5位。特用林産物で、竹材が2位。
- ・ 製材工場数は129工場で全国第10位。うち国産材のみ入荷があった工場数は113工場で7位。

林野面積

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
林野面積	466,250 ha	24,770,201 ha	18
国有林	62,968 ha	7,153,338 ha	17
民有林	403,282 ha	17,616,863 ha	18
人工林面積	280,267 ha	10,203,842 ha	10

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,255 経営体	34,001 経営体	7
法人経営体	110 経営体	4,093 経営体	12

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
林業産出額	134.8 億円	4,286.4 億円	9
木材生産	114.2 億円	1,943.7 億円	4
栽培きのこ類生産	18.7 億円	2,259.6 億円	23

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
素材生産量	964 千m ³	19,882 千m ³	6
針葉樹	923 千m ³	18,037 千m ³	6
ひのき	233 千m ³	2,722 千m ³	1
すぎ	687 千m ³	11,663 千m ³	5
広葉樹	41 千m ³	1,845 千m ³	10
竹材	生産量 240.1 千束	1,030.1 千束	2
たけのこ	生産量 2,921.3 t	26,448.5 t	3
黒炭	生産量 439.8 t	4,878.4 t	3 *
乾しいたけ	生産量 176.8 t	2,302.1 t	3
生きくらげ類	生産量 149.0 t	1,708.9 t	3 *

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
工場数	129 工場	4,115 工場	10
製材用素材の入荷があった工場数	129 工場	4,067 工場	9
国産材のみ	113 工場	3,237 工場	7
国産材と輸入材	11 工場	653 工場	26

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

熊 本 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は381億円で全国第12位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のたちうお、このしろが全国第3位、海面養殖業のまだい、しまあじ、くるまえびが2位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産加工の年間販売金額が26億2,400万円で全国第16位。漁家民宿は6,400万円で22位。

漁船隻数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
漁船隻数	4,800 隻	132,201 隻	11
動力漁船	2,591 隻	69,920 隻	10

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,829 経営体	79,067 経営体	9
内水面漁業経営体数	71 経営体	4,772 経営体	19

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	5,392 人	151,701 人	9
男	4,195 人	134,186 人	11
女	1,197 人	17,515 人	5

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	381 億円	13,484 億円	12

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	66,070 t	4,182,983 t	20 *
海面漁業漁獲量	13,080 t	3,213,334 t	29
たちうお	705 t	6,395 t	3
このしろ	657 t	4,160 t	3 *
海面養殖業収穫量	52,990 t	969,649 t	8 *
まだい	8,835 t	65,973 t	2 *
しまあじ	697 t	4,042 t	2 *
くるまえび	269 t	1,369 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	374 t	50,832 t	19 *
内水面漁業漁獲量	35 t	21,745 t	25 *
内水面養殖業収穫量	339 t	29,087 t	13 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事業の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	2,624 百万円	175,132 百万円	16
	事業体数	50 事業体	1,500 事業体	6
水産物直売所	総額	217 百万円	36,489 百万円	26 *
	事業体数	20 事業体	800 事業体	13 *
漁家民宿	総額	64 百万円	6,659 百万円	22 *
	事業体数	10 事業体	900 事業体	18 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

熊本県の農林水産業の話題等

熊本地震および令和2年7月豪雨からの復旧・復興

【熊本地震】

平成28年4月に発生した熊本地震について、熊本県では、同年12月に策定した「熊本復旧・復興4カ年戦略」に基づき復旧・復興を進めてきた。

農林水産分野では、農地及び営農施設の復旧等が着実に進められた結果、令和3年3月末に「被災農家の営農再開100%」を達成した。

さらに、大規模な地表面の亀裂やずれによる被害が発生した農地については、創造的復興の取組として、単に元の姿に戻すだけでなく、担い手への農地集積を図るための大区画化等の基盤整備も実施した。

【令和2年7月豪雨】

令和2年7月に発生した豪雨により、県全体で5,222億円（農林水産関係は約1,019億円）の被害が発生。

熊本県では、同年11月に「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」を策定し、農林水産分野においては、農地・農業用施設・林業・治山施設等の早期復旧や、地域と連携した田んぼダムの取組の普及・拡大による防災・減災力の強化等を進めている。

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の発生以降、本県においては、米や野菜、魚介類等を中心に影響が確認されている状況。

これら、影響を受けた農林水産物の消費喚起・販路拡大に向けて、ラジオやテレビ等を活用した広報やキャンペーンの実施、県内外でのフェアの開催等を積極的に展開している。

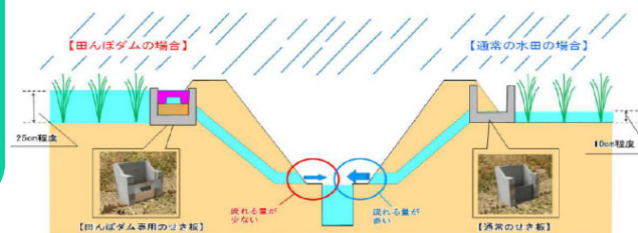
熊本県農林水産物等の輸出実績が過去最高を更新

コロナ禍においても、海外バイヤーとのオンライン商談会や展示会への出展支援、海外小売店での「熊本フェア」など、輸出拡大に積極的に取り組んだ結果、令和2年度の県産農林水産物等の輸出は、前年度より17億円増加し過去最高の78億円となった。

品目別にみると、北米向け等の水産物が減少した反面、台湾、香港、アメリカ向けの牛肉や、東南アジア向けのメロン等の農畜産物が大幅に増加している。



農地の復旧・大区画化



田んぼダムの仕組み



オンライン商談会の様子